

インフラツーリズムの更なる拡大に向けて 提言 (案)

1.これまでの取り組み

- ▶平成25年「観光立国実現に向けたアクション・プログラム」において、インフラ施設を観光資源として活用する「インフラツーリズム」を推進することが打ち出された。
- ▶平成28年に、インフラツーリズムを紹介するポータルサイトを立ち上げ、広く国民にインフラツーリズムの魅力を発信。



2.インフラツーリズムの現状

- ▶ポータルサイトで取り上げた施設の来訪者は年間50万人。
- ▶民間主催のインフラツアーも年々増加。
- ▶来訪者の多くは、宮ヶ瀬ダムや首都圏外郭放水路など大都市圏近郊にある一部のインフラに集中しており、インフラの魅力を十分に活かしていない施設が全国に多数存在。

3. インフラツーリズムの理念

- ▶インフラツーリズムは、インフラへの理解を深めていただくため、普段訪れることのできないインフラ施設の内部や、日々変化する工事中の風景などの非日常を体験するツアーを展開することにより、地域に人を呼び込み、地域活性化に寄与することを目指すもの。

<目指す方向性> ■インフラへの理解を深める ■地域に人を呼び込む ■地域との連携を拡大する

4. インフラツーリズムを拡大させるための工夫

- ▶インフラツーリズムを推進している事例では、魅力度を高めるため「人を呼び込む工夫」「より多くの人を受け入れるための工夫」「持続的に展開するための工夫」が盛り込まれている。そこで、これらの工夫を「手引き」としてとりまとめ、各施設でインフラツーリズムを拡大させるために活用していく。
- ▶インフラと周辺観光資源との連携を図り、地域全体で来訪者を迎え入れ地域活性化に寄与するインフラツーリズムに育てていくことが重要である。

5.インフラツーリズムの更なる拡大に向けての取組

5.1 2020年に向けての取組

(1) モデル地区での社会実験とその成果の展開

- ▶モデル地区を選定し、.....などを行い、インフラツーリズム拡大の具体的な取組を実施し、得られた知見を他地域に展開していく。

(2) 国内外に向け魅力ある広報の展開

- ▶国内外の需要開拓が進められるように、.....などを行い、幅広く魅力ある情報発信を展開していく。

(3) 訪日外国人のニーズを把握したインバウンド対応

- ▶年間3,000万人を越える訪日外国人への対応として、訪日外国人のニーズを把握し、.....などを行い、インバウンド対応を展開していく。



5.2 将来に向けての取組

(1) インフラのさらなる魅力向上

- ▶インフラのさらなる魅力向上の1つとして、ガイド方法などのソフト面の充実を図ることが望まれる。特に、ガイドを養成する方法などは、他分野の先進事例を踏まえながら検討.....

(2) 満足度などを高めるための工夫

- ▶“今だけ・ここだけ・あなただけ”を念頭にプレミアム感のある見せ方を工夫するなど、リピーターの確保も踏まえた満足度の向上方法を考える必要.....

(3) 民間事業者の参入によるさらなる展開

- ▶土日の公開など施設管理者だけでは対応が困難な課題に対し、積極的な民間導入を図っていく仕組みづくりを明確化していく必要.....

(4) 地域との連携強化

- ▶インフラと地域との連携を深めるためには、インフラ施設の位置や構造形式等が決められた地域の歴史性や地形特性などを視点に、埋もれた地域資源の掘り起こしも含め、来訪者を地域に滞在させ地域経済波及の増大.....